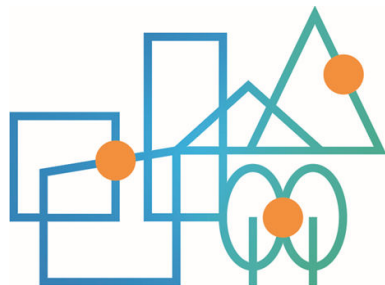


今治市における脱炭素の取組



脱炭素先行地域

愛媛県今治市



イマバリグリーン
プロジェクト

2025（令和7）年10月4日

今治市長 徳永 繁樹

今治市の紹介

世界に誇れる 5 つの魅力



いまばり
ペダル
2025



2025.10.26 日

今治市サイクルシティ推進協議会HP

基本情報

ï 位置・地勢：愛媛県北東部、瀬戸内海に面する港町。しまなみ海道の起点

ï 人口：146,206人

ï 世帯数：76,533世帯
(2025年7月末時点)

ï 歴史・文化：村上海賊、今治城、丹下健三氏など著名建築家による建築群

ï FC今治：J2所属。地域密着型クラブとして教育・地域連携活動も展開中

今治の“日本一”

今治タオル：全国シェア約60%、品質とブランド力で日本一

しまなみ海道：海を渡る世界的サイクリングロードで、年間33万人のサイクリストが訪れる

日本最大の海事都市：海運・造船・舶用工業が集積し生産量や集積度等日本一の規模を誇る

業務用混合調味料市場シェアトップ（日本一）の企業立地

伝統工芸：桜井漆器・菊間瓦・大島石など、全国屈指の工芸集積地

今治市のこれまでの脱炭素の取組

宣言（決意表明）

計画策定・座組構築

脱炭素先行地域・仕組の横展開

以下取組は（継）は継続事業を表し、翌年以降の枠内には記載していない

～2023

Step
1

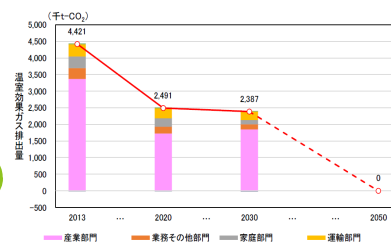


ゼロカーボンシティ宣言（2023. 11）

- い 家庭一LED取替補助
- い 家庭一エアコン取替補助
- い 家庭一新エネ設備補助（継）
- い 家庭一EV購入費補助（継）
- い 事業者一EV購入費補助
- い 事業者一急速充電設備設置補助（継）
- い 事業者一LED取替補助
- い 自治会等一LED防犯灯新設・交換支援（継）
- い 道路照明灯まるごとLED化事業
- い 小中学校一括LED化事業（継）

2024

Step
2



地球温暖化対策実行計画策定（2024. 3）



地域ぐるみ事業採択（2024. 7）

- 前年度からの継続事業に追加して以下事業に新規チャレンジ
- い アクセルトレーニング導入事業（継） …全国自治体初

- い 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業

- い FC今治里山校環境教育PGへの参画（継）

2025

Step
3



脱炭素先行地域選定証授与式（2025. 5）

- い 脱炭素先行地域（第6回）選定…愛媛県初
- い 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業（過年度横展開事業）採択…全国唯一
- い 「令和7年度コスト競争力強化を図る再エネ等由来水素サプライチェーンモデル 構築・FS事業」…全国採択2件うち1件



FC今治高校里山校での脱炭素講義（2025. 6）

3つの課題を脱炭素で解決したい

1

しまなみ海道エリアの
観光振興・経済活性化

ï 人口減少により地域産業や観光
の持続化が困難に

(単位：人)

	2006年	2020年	減少率
旧今治市	116,679	106,655	8.6%
陸地部	35,957	30,266	15.8%
島しょ部	24,157	17,071	29.3%

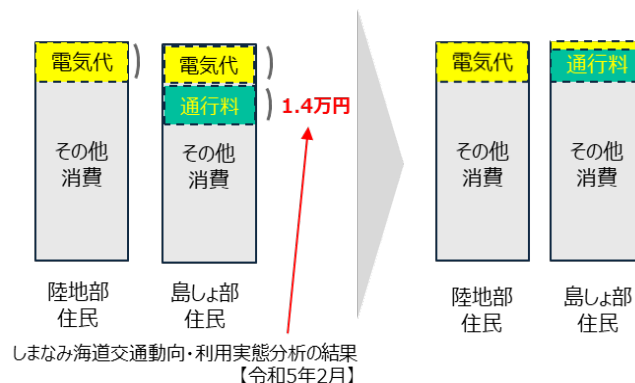
今治市市民課、各年4月末日時点

- ï 国内外のサイクリストやエコ志向の富裕層の交流人口拡大
- ï 経済活性化で雇用創出・若者等の移住・定住促進
- ï 環境配慮型観光地としての地域ブランド力向上

2

島民のしまなみ海道
通行料負担軽減

- ï 島民は、生活を通してしまなみ海道の通行料（平均月額1.4万円）を負担
- ï 総務省の家計調査や島民へのアンケート調査結果から、島民の電気代も月額1.4万円程度と判明

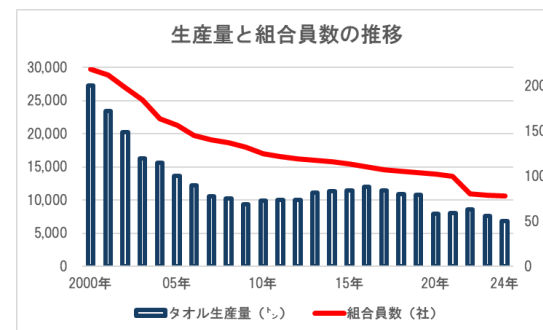


- ï 島しょ部住民の電気代負担を低減し、通行料負担に伴う所得格差を実質ゼロに近づける

3

今治タオル産業
群の競争力強化

- ï コロナ禍の行動様式変容でギフト需要縮んだまま
- ï 設備の老朽化、維持管理費や燃料代等のコストが経営を圧迫



今治タオル工業組合データもとに今治市作成

- ï 日本全体の中小製造業の脱炭素化モデルケースに
- ï 脱炭素タオルで市場での優位性を確保

【参考】脱炭素先行地域の取組概要

※黄色網掛け部分については
9月補正等を行い取組開始

今治市：しまなみ海道×今治タオル産業群 -ゼロカーボンライン×ゼロカーボンクラスターが織りなす愛媛の未来-



脱炭素先行地域の対象：島しょ部等ブルーライン沿線エリア、今治タオル産業群

主なエネルギー需要家：戸建住宅(609戸)、民間施設(204施設)、公共施設(48施設)、今治タオル産業群(3組合)

共同提案者：愛媛県、今治タオル工業組合、今治産業工業協同組合、愛媛県繊維染色工業組合、(株)愛研化工機、(株)しまなみ、(株)アドバンテック、四国ガス(株)、四国ガス燃料(株)、四国ガス産業(株)、東京海上日動火災保険(株)、(株)伊予銀行、(株)愛媛銀行、今治商工会議所、(株)東芝、TRENDE(株)



取組の全体像

国際的にも知名度の高いしまなみ海道ブルーラインと今治タオルという2つの地域資源をソフト・ハード両面から脱炭素化し、ブランド価値を向上させるとともに市・県で連携し観光振興策等の強化を図り、交流人口の拡大による島しょ部の経済活性化に取り組む。ソフト面としては、サイクリングの国際会議“Velo-city”等の機会や人気を博すご当地キャラクターを活用する等し、脱炭素に関する情報発信、住民・観光客の行動変容を促す。ハード面としては、設備の老朽化が進む今治タオル産業で廃水を活用したバイオガス発電を行う等、脱炭素化とリノベーションに取り組む。また、民生部門では、レンタサイクルや観光拠点の脱炭素化、家庭や事業所に対して再エネ・省エネ設備・EMSをパッケージで導入支援。産業・民生部門ともに、金融機関と連携した独自支援策とともに市内外に横展開する。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① しまなみ海道ブルーライン沿線を対象エリアとして設定。島しょ部等の家庭や事業所に対し再エネ・蓄電池・ヒートポンプ給湯機・省エネ設備・EMSをパッケージ導入(約1,400kW)するとともにエネマネで運用面も効率化
- ② レンタサイクル拠点や観光拠点に太陽光発電・蓄電池を導入(約750kW)
- ③ 活用予定がない一般・産業廃棄物最終処分場跡地を活用し、太陽光発電設備を導入(約2,000kW)
- ④ サイクリングの国際会議・大会等や小中高校生を対象にした学校教育の場でのコンテンツ活用のほか、ご当地キャラクターとも連携する等し、市・県が連携し脱炭素の取組を国内外に向けて情報発信することで、住民・観光客の行動変容を促進
- ⑤ 地域エネルギー会社等による今治タオル事業者や住民の余剰電力の集約等を行い電力を供給



しまなみ海道を訪れる外国人ツーリストと今治タオル

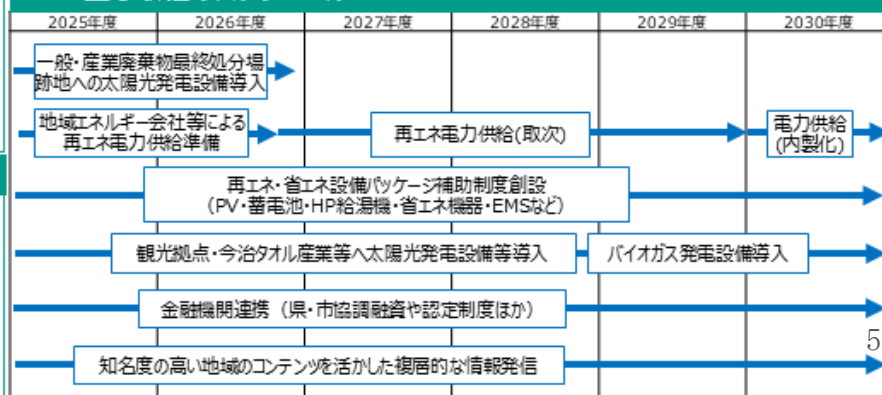
2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 今治タオル産業群に、繊維染色の際の廃水を活用したバイオガス発電や太陽光発電を導入し、今治タオルの脱炭素化を推進
- ② 脱炭素経営プログラム等の既存制度の推進に加え、事業者の脱炭素に関する認定制度の創出や脱炭素製品の開発、新技術の開発等を新たに行うほか、県・市協調融資(実質無利子)を金融機関と連携しながら取り組み、脱炭素経営に意欲的な企業を市・県連携して強力に支援

3. 取組により期待される主な効果

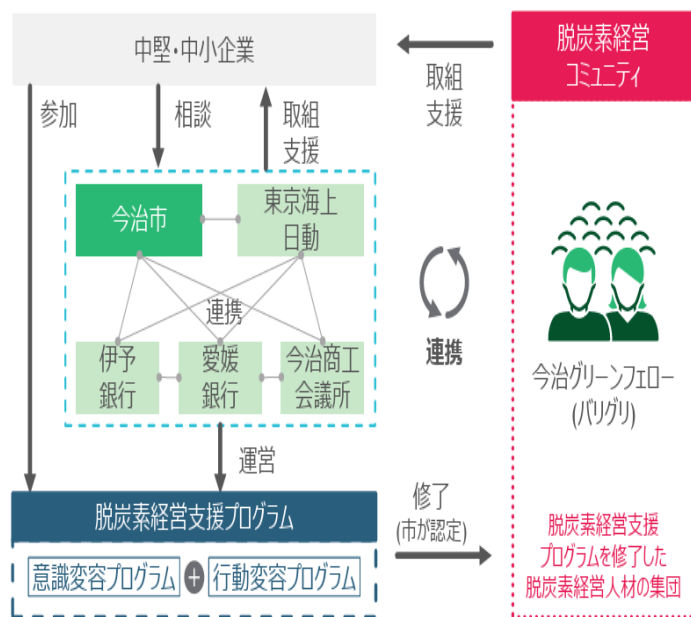
- ① しまなみ海道ブルーラインと今治タオルのブランド力強化と徹底した発信とともに、観光振興等の取組を更に加速化することで、交流人口を拡大させ、島しょ部の経済活性化に寄与
- ② 県が2030年を待たずに、今治市以外も含めた県内の全サイクリングコース(28コース)に取組を展開し、観光振興にさらに貢献
- ③ 市・県・金融機関等が連携し、商品化、新たな技術活用等による付加価値向上やコスト低減等のメリットを明確化した産業界における優良モデルを構築し、タオル産業界内外に横展開するとともに、産業界の脱炭素化と活力向上を同時達成

4. 主な取組のスケジュール



地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築（2024）

座組の構築



Copyright © 2024 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

経営支援PGの構築



意識変容
PG
全1回



行動変容
PG
全4回



行動
サポート
PG
(希望者)



今治
グリーン
フェロー
認定

コミュニティで推進



第1期19名の企業属性
放送事業、造船、船用、交通安全
施設工事、観光サービス、タ
オル、繊維・染色、繊維製
品企画販売、ガス、電気通信設
備事業、印刷、電気機器、金融、保
険業、行政

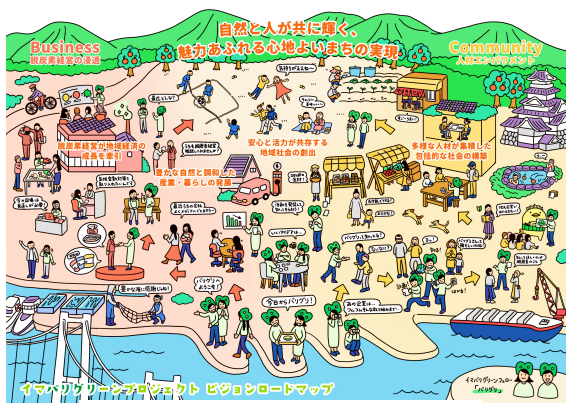
- ⅰ 協議会でなくアジャイルに動ける形（実務者連絡会）
- ⅰ 役割分担を明確化

- ⅰ 意識変容を入口に（カードゲームでハードル低く）
- ⅰ PG修了者を企業内外の脱炭素経営推進役（バリグリ）に

- ⅰ 経営者層に限定せず業種・役職を超えて脱炭素経営推進役に
- ⅰ 人材エンパワメント（コミュニティ）×脱炭素

地域ぐるみで地域の脱炭素「熱」を持続（2025）

ビジョン・ロゴの活用



- i 平易に脱炭素を伝える工夫（ビジョンロードマップ）
- i 戦略的に取組のイメージをつくるため脱炭素のロゴを作成

コミュニティの育成



- スキルアップPG（予定）
- u 7月 座学（J-クレジット）
 - u 9月 座学（情報発信・魅力の見つけ方）
 - u 11月 オープンファクトリー見学
 - u 1月 振り返り、成果報告準備
 - u 2月 成果報告会

- i バリグリを中心としつつも開かれた交流の場
- i 学生等も参加し地元企業認知の場

他市町へ横展開

脱炭素経営支援
今治モデル構築
（前述の仕組み）



仕組み・ノウハウ提供

独自モデル構築

- ・八幡浜市
- ・内子町



モデル情報を愛媛県へフィードバック

自治体間連携促進

- ・県内自治体へ横展開
- ・県外へも情報発信



- i 愛媛県と仕組みを横展開することで、県内初の先行地域として脱炭素ドミノの起点に

瀬戸内の世界都市へ



むすんだ絆、つながる未来
今治市合併20周年